

# 令和元年度 事業報告書

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団



# 令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

## 【報告】

生涯学習センターでは、「さっぽろ市民カレッジ」において、図書館、コミュニティ施設、民間企業、大学等と積極的に連携し、市民の多様化・高度化する学習ニーズに応える講座を展開した。札幌や北海道の文化・歴史・自然環境を深く知り、地域課題について考える講座「創成川東地区の歴史の足跡を巡る」では、現地学習を交えるなどして専門性が高い中にも親しみが感じられる講座を実施した。また、アイデアを生み出すトレンド情報を学ぶ講座や都心にある札幌市図書・情報館と連携した「好印象を与えるセルフコーディネート」など、ビジネススキルアップの向上を目指す講座を実施した。

メディアプラザでは、所蔵する図書やCDと関連づけた絵本の読み聞かせやCDコンサートなどの事業を積極的に行った。また、貸室事業では、Web 仮予約の予約保持期間を1日から7日間に延長し、利用者の利便性向上を図った。

青少年科学館では、常設展示・実演及びプラネタリウム等の運営を行い、市民に対して科学への興味関心を喚起した。夏の特別展では「家」をテーマに、家の中に隠れた様々な科学について、冬の特別展では「ハワイ」をテーマに、火山や天文分野などに着目し、体験型の展示や実演を行った。また、冬の特別展期間に合わせ、ハワイにまつわるプラネタリウム番組の上映や関連商品の販売など、館全体でイベントを盛り上げた。

プラネタリウムでは、地元のプロ野球チームと連携したプラネタリウムオート番組を制作するとともに、当館と札幌ドームで相互にキャンペーンを実施した。さらに、近年話題となった小惑星探査機「はやぶさ2」や、オーロラを題材にした特別投影などを実施した。

札幌市天文台では、市民の天文分野に関する興味・関心を高めるため、移動天文台での夜間観望会、さっぽろ星まつり等を実施し、実際の星を観望する機会を提供した。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、生涯学習センター及び青少年科学館については2月下旬から休館等の措置が実施された。

# 公 1 生涯学習普及振興事業

(定款第4条各号に掲げる事業)

## I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

### 1 学習機会提供・活動支援事業

#### (1) さっぽろ市民カレッジ

年間を3期(4～8月、9～12月、1～3月)に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系を合わせて281講座を実施した。市民の様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生(市民講師)の企画・運営による講座や大学・企業とも連携した講座を実施するなど、市民に多様な学習機会を提供した。

さらに、市立札幌大通高校を会場として高校生と大人と一緒に学ぶ<学社融合講座>では、受講者の世代を超えた交流を図った。

#### ア 市民活動系

学んだ成果を活動に生かすことができるよう、複数の講座でのつながりづくりを重視し、受講者が講座の中で終了後の活動のイメージを持つことができるなど、市民活動を入口を広げる講座を実施した。減災やSDGs、高齢者運転など受講者の身近なテーマを扱った講座を実施した。

#### イ 産業・ビジネス系

小売業やインバウンドに焦点をあて、「アジア圏客が喜ぶブランディング」「良いもの見極めと仕入れ」、SDGsにも関わる「食品ロスとフードバンク活動」、働いている人が受講しやすい環境を提供するために市民交流プラザを会場にした「マインドフルネス」などの講座を実施した。

#### ウ 文化・教養系

学びから出会う人・こと・ものを目的に、学びを通じた仲間づくりのための人気講座「日本の歌をうたおう」や、「現代史」などの講座を実施した。改元に合わせた平成を振り返る講座やワールドカップ開催に合わせたラグビーの入門

講座など時事に合った講座を実施した。

ちえりあ学習ボランティア（ちえボラ）企画講座では、「豊平川のサケをもっと知ろう！」「考えよう北海道のエネルギー」などを開講し、ご近所先生企画講座では、「タイ語を話そう」（手稲区民センター）、「片付けたくなる！私の家」（東札幌図書館）などを開催した。

また、学社融合講座では、「やさしい日本語と英語で場面練習」や「仕事に使えるエクセル活用術」などを開催した。

**【実績】 さっぽろ市民カレッジ講座内訳**

※括弧内は前年度実績

	センター 企画講座	学社融合 講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	講座数計	受講者数計
市民活動系	35 (32)	7 (6)	— (—)	— (—)	42 (38)	630 (564)
産業・ ビジネス系	23 (25)	12 (13)	— (—)	— (—)	35 (38)	552 (501)
文化・ 教養系	42 (22)	14 (12)	12 (15)	136 (156) 地域会場：28 (33)	204 (205)	3,573 (3,572)
合計	100 (79)	33 (31)	12 (15)	136 (156)	281 (281)	4,755 (4,637)

※ 地域会場→区民センター、地区センター等

**(2) 生涯学習関連講座**

大学・企業などと連携し、その特性や資源を生かした講座を実施した。また、市民の生涯学習活動を支援するため、行政機関と連携し、生涯学習センターの持つノウハウを生かした講座を実施した。

**ア 大学などとの連携事業**

大学と連携して互いの特性を生かした講座を提供した。また、学びを通じた世代間交流・異年齢学習の推進を図った。

**【実績】 札幌市立大学連携講座 10回175名**

「創成川東地区の歴史の足跡を巡る」ほか

北海道教育大学札幌校 5回48名

「金属を使って自分の〇〇を作ろう！」ほか

北海学園大学 1回13名

「新たな視点で見る映画『ハリー・ポッターと賢者の石』」

**イ 行政機関連携講座**

中央図書館主催の「さっぽろ家庭読書フォーラム」に共催し、小中高生の読

書推進活動の紹介などをメディアプラザ図書コーナー等で実施した。

【実績】年1回（前年度 1回）

#### ウ 民間企業などとの連携事業

それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、企業の社会貢献活動に協力した。

【実績】5講座86名（前年度 7講座118名）

雪印メグミルク(株)：「牛のお話と工場探検」20名、  
(株)明治：「発見！チョコレートの秘密」29名 ほか

#### エ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

専門機関や各種学会・協議会などと連携・協力し、現地学習を交えるなどして専門性が高い中にも親しみが感じられるような講座を実施した。

【実績】9講座179名（前年度 6講座69名）

### (3) 生涯学習普及事業

#### ア ちえりあフェスティバル

ちえりあの開館（平成12年8月）を記念して、館内の4施設（生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、札幌市教育センター、リサイクルプラザ宮の沢）が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行い、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。昔遊び体験や世界の言葉を使ったじゃんけんなどセンターが有する事業のノウハウを生かしたイベントや、さまざまな世代が楽しめる北海道大学落語研究会口演などを実施した。また、来場者が自由に撮影できるインスタスポットを設置したところ、SNSに投稿されている様子がみられるなど好評を得た。

【実績】8/25(日)17,514名（前年度 12,080名）

- ・むかし遊びを楽しもう・ご近所先生世界旅行
- ・子ども向け職業体験ブース・北海道大学落語研究会の口演 他

#### イ ちえりあ映画会

映画に親しむ機会を提供するため、生涯学習センター等が所蔵する多様な映像教材をちえりあホールで上映した。邦画では、ボランティア団体の「ムービー北海道」の協力を得て、目の不自由な人も鑑賞できるよう副音声ガイドサービスを実施した。また学校の長期休業期間などには、親子で楽しめる作品を上映した。

【実績】10回2,588名（前年度 12回3,177名）

大人向け7回 1,999名「最高の人生の作り方」他  
子ども向け3回 589名「ミッキーマウス」他

#### ウ ミュージックシアター（新規）

クラシック、ジャズ、ミュージカルなどに親しむ機会を提供するため、生涯学習センターが所蔵する多様な映像教材をちえりあホールで上映した。

【実績】3回184名「ブルーアイランド史のオペラ小史」他

#### エ ゆりかごコンサート

子育て中の親とその子どもに気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、乳幼児の声や動きを気にせずに鑑賞できるコンサートを開催した。

【実績】1/21(火)197組394名（前年度 110組220名）

#### オ CDコンサート

生涯学習センター所蔵の音響機器と視聴覚資料を活用し、良質な音響環境で名演奏に親しむ場を提供するとともに、メディアプラザの貸出しCDの利用促進を図った。

【実績】11回312名（前年度 12回469名）

「愛の賛歌 シャンソン名歌集」、「ハンドベル・クリスマス」他

#### カ 北海道吹奏楽フェスティバル（共催：北海道吹奏楽プロジェクト）

異世代の交流と教育プログラムの実践をメインに、プロ講師やアマチュア演奏家と中学生や高校生が合奏しながら音楽を楽しむコンサートを開催し、吹奏楽活動の支援と普及を図った。

【実績】2公演 920名（前年度 3公演940名）

参加校 10校（前年度 20校）

#### キ カルチャーナイト（主催：カルチャーナイト実行委員会）

夜間、公共施設などを開放し、文化活動の発信を通じて、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に参加し、市立札幌開成中等教育学校生と連携し「こんなコマ回るの？ 不思議な形のコマづくり」や、子ども向けイベントとして「でっかくあそぼう！ビックすごろく」を1階ロビーで開催した。

【実績】7/19(金) 135名（前年度 115名）

「こんなコマ回るの？不思議な形のコマづくり」65名

「でっかくあそぼう！ビックすごろく」70名

#### ク 市民交流スペース「ちえテラス」運営

生涯学習支援スペース「(愛称) Chie Terrace (ちえテラス)」で、メディアプラザ司書やボランティアによる絵本の読み聞かせ、市民カレッジの無料体験講座「カレッジサロン」、オープン3周年記念の音楽コンサート、また、地域住民の学びの交流拠点づくりとして新規事業の「しゃべりあ」を行った。市民が生涯にわたって学び続けることができるように、多種多様な学習環境をつくり、より効果的な活用・交流が出来る場を提供した。

**【実績】おはなし会（絵本の読み聞かせ）10回318名（前年度 12回416名）**  
ボランティアによる読み聞かせ 8回226名（前年度 12回50名）  
カレッジサロン 2回9名（前年度 4回31名）  
音楽コンサート 2回85名（前年度 2回40名）  
しゃべりあ 1回5名（新規）

#### (4) 学習活動支援事業

##### ア サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体に学習成果を披露する場を提供することにより、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることに役立てた。

**【実績】観覧者2,348名（前年度 2,110名）**  
作品展示 11/16(土)～23(土)参加19団体（展示：参加17団体）  
舞台発表 11/19(火)～22(金)参加74団体（舞台：参加67団体）

##### イ ロビーコンサート

市内や近郊で音楽活動に取り組んでいる個人、団体から出演者を公募し、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に気軽に演奏を聴いてもらう機会を提供した。

**【実績】9回 参加9団体 来場者848名（前年度 8回 参加8団体 来場者905名）**

##### ウ ロビー展示

ロビー及びギャラリー等でさっぽろ市民カレッジのパネル展を行い、市民の学習意欲向上のための広報の場として活用した。

**【実績】1回（前年度 8回）**



## 2 学習支援者活用・育成事業

### (1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

#### ア 市民講師育成事業（ご近所先生）

学んだ知識や技術を生かし講師活動をしたいという思いをもつ市民を掘り起こし支援した。成人学習の講師としてのいろはを学んでもらうため、職員面談・研修・交流の機会を設け、実践の場としてさっぽろ市民カレッジ「ご近所先生企画講座」の講師を務めてもらった。

【実績】研修会4回 110名（前年度 4回136名）

交流会1回 10/5(土)28名（前年度 1回26名）

#### イ 生涯学習ボランティア育成事業

##### (a) ちえりあ学習ボランティア

さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」に、活動の場と知識やノウハウを実践的に学ぶ機会を提供した。

【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者数49名（前年度 49名）

##### (b) メディアボランティア・オンデマンド

16ミリ映写機の映写技術を継承し、市民の学習活動や地域活動で16ミリフィルムを利用できるようにするための「16ミリフィルム上映体験講習会」を実施し、講師役となる「オンデマンド」の活動を支援した。今年度は、夏休み期間中に親子向けの体験講習会を行った。

【実績】「オンデマンド」登録者数 4名（前年度 4名）

16ミリフィルム上映体験講習会 7/27(土)

受講者数 親子8組16名（前年度 2回9名）

#### ウ 職場体験などの受入れ

職場体験学習のインターンシップなどを受入れ、講座の企画・立案や運営など、生涯学習に係る職業体験の場を提供した。また、施設見学・視察対応も依頼に応じて随時行った。

【実績】職業体験 7校13名（前年度 6校21名）

札幌市立手稲東中学校3名、北海道ニセコ高等学校1名、  
北海道大学1名、札幌市立大学1名、豊明高等養護学校1名、  
北海道札幌琴似工業高等学校3名、札幌市立稲積中学校3名

#### エ 生涯学習関連施設職員研修事業

区民センター、地区センターなど生涯学習関連施設職員の資質向上を図るため、事業の企画立案や広報などに必要な知識やノウハウを身に付ける研修を実施した。

【実績】2回 計17施設60名（前年度 2回 計25施設58名）

## (2) ボランティア等活用事業

### ア 学習支援者活用推進事業

さっぽろ市民カレッジ受講修了者に対して、学んだ成果を生かしてもらうため、センター事業や地域での活動の場を提供するなどの支援を行った。

#### (a) ちえりあビデオクルー

センター事業や他団体による地域の活動・行事などのビデオ撮影・編集を依頼した。映像作品をYouTubeに公開したり、主催者に提供することで、地域の活動のPRに活かしている。

【実績】登録者数23名（前年度 20名）

#### (b) 市民ファシリテーター

市民ファシリテーター養成講座の受講修了者を対象に、同講座の企画から運営までをサポートしてもらうことで、講座内容の充実を図るとともに、自身の学びを深めてもらう機会を提供した。

【実績】登録者数2名（前年度 4名）

#### (c) コーラスボランティア

「楽しく歌ってボランティア」講座修了者で結成されたグループに同講座の運営補助を務めてもらった。また、施設慰問コンサートを実施した。

【実績】登録者数「コスモス」2名、「プリティボイス」10名

（前年度 「コスモス」4名、「プリティボイス」22名）

#### (d) カメラボランティア

カメラボランティア講座修了者によるサークルに生涯学習センター事業の写真を撮影してもらい、広報誌や事業概要などに活用した。

【実績】登録者数8名（前年度 18名）

## 3 生涯学習センター管理運営事業

### (1) 施設の貸与

#### ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を条例に基づき有料で提供した。また、利用者の利便性を考慮し、4月からWeb仮予約の予約保持期間を1日から7日間に延長した。

**【実績】貸室利用件数14,351件 利用率79.8%**

(前年度 貸室利用件数14,803件 利用率81.7%)

#### イ ロビー・ギャラリーの活用

ロビー・ギャラリーを市民の学習成果の発表の場として提供した。

**【実績】ロビー利用件数12回 (前年度 25回)**

ギャラリー利用件数15件 (前年度 16件)

#### ウ 学習のための施設開放

施設を弾力的に活用し、大研修室などの空き室を学習の場として開放した。

当日までに利用申し込みの無かった貸室を学習の場として開放するなど有効活用に努めるとともに、施設開放の実施状況をホームページに掲載し、利用者の利便性向上を図った。また、学生の長期休業期間以外でも、利用状況に応じた空き室の開放を行うなど、弾力的な運営を行い、利用者のニーズに応えた。

**【実績】夏季期間 (7/20(土)~8/18(日)) 9日間378名 (前年度 10日間277名)**

冬季期間 (12/20(金)~3/15(日)) 17日間588名 (前年度 35日間963名)

#### エ 公共目的事業の共催

市民によるまちづくり活動の一環として催された映画上映会など、外部団体による生涯学習に係る事業で、当財団の公益目的事業の趣旨に沿うものについて共催し、使用料の減免や広報などの支援や協力を行った。

**【実績】共催事業2件 (前年度 3件)**

### (2) 学習相談・情報提供

#### ア 学習相談、サークル・講師の紹介

メディアプラザでの学習相談をはじめ、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、「ちえりあ市民講師バンク」に登録している講師や、サークル活動の内容を紹介するなど、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

**【実績】メディアプラザ学習相談18,613件 (前年度 16,240件)**

ちえりあ市民講師バンク登録者数261名 (前年度 295名)

サークル登録171件 (前年度 172件)

#### イ 広報誌の発行

生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌

「ら・ちえりあって」を発行し市内の公共施設を中心に配布した。また、LINE

公式アカウントを新たに開設し、広報誌を閲覧してもらう機会を増やした。

【実績】6回発行 各12,000部（前年度 6回発行 12,000部）

LINE公式アカウント友達登録者数 289名（新規）

#### ウ ホームページの活用

講座やイベントなどの情報提供のほか、ちえりあビデオクルーが撮影した動画を配信するなどして、生涯学習センターの事業を紹介した。

【実績】ホームページアクセス数 992,721件（前年度 1,002,087件）

#### エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

行政機関、高等教育機関、カルチャーセンター、NPOなど、市民向けの学習機会を提供している施設の特徴や主な開催講座等の情報を掲載する冊子「さっぽろ生涯学習情報 大人の学び場MAP」を発行し、市内の公共施設等で配布した。

【実績】2回発行（8月、2月）各6,000部（前年度 2回発行各6,000部）

#### オ 「子どもの学びガイド」の発行

小学校の夏休み前と冬休み前に市内の公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介する案内チラシ「子どもの学びガイド」を制作し、市立小学校の全児童に配布して、児童と保護者に情報提供を行った。

【実績】4回発行（6月、7月、9月、12月）各93,000部

（前年度 4回 各93,000部）

#### カ 調査研究事業

市内38コミュニティ施設に対して、胆振東部地震発生時の行動調査を実施した。また、生涯学習センターの他、参考事例があった中央区民センター、東区民センター、里塚・美しが丘地区センターの3施設には、現地に出向いてヒアリング調査を実施し、報告書「平成30年度北海道胆振東部地震発生時の行動調査」にまとめた。

#### キ 利用者などの声を生かす取組み

##### (a) 札幌市生涯学習センター運営協議会

利用者の代表や外部有識者などによる協議会を開催した。当センターの事業を検証するとともに、委員からの意見や提言を今後の管理運営の改善に生かすよう検討した。

【実績】2回実施（前年度 3回）

(b) 利用者アンケートの実施

センター利用者を対象に接遇などの満足度を測るアンケートを実施した。市民から寄せられる意見をもとに施設設備の改善や当センターの管理運営に生かすよう検討し、メディア・プラザ及び2階センター事務室においてアンケートに寄せられた意見等に対する回答を掲示した。総合満足度は市の要求水準80%を上回る92.6%だった。

(3) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出し、資料収集並びに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

市民の調べ学習に役立つ図書及び視聴覚教材（音楽・映像）を収集し、図書閲覧・貸出し、音楽CD（約1万2千点）の鑑賞・貸出しなどを行うとともに、レファレンスサービスを通じて学習活動の支援を行った。

【実績】来場者数178,335名（前年度 200,239名）

(a) 図書閲覧・貸出し

利用者の幅広い調べ学習を支援するため、蔵書約2万5千冊を閲覧及び貸出しに供するとともに、市内の他の図書館・図書室との相互の取り次ぎサービスに対応した。また、図書を活用した生涯学習に取り組むきっかけを作るため、レファレンス業務を行うなど、所蔵資料や職員の専門性を活かした事業を展開した。

【実績】図書・CD貸出数68,325点（前年度 73,906点）

(b) 音楽・語学教材・映像の視聴

クラシックを中心とした音楽資料のほか、映像資料、語学教材など約3万点の資料の提供を行った。音楽CDは、館内で鑑賞できるほか館外貸出しにも供する。また、特集展示やイベントも実施して各種資料の周知と利用促進を図った。

【実績】＜館内貸出＞ 音楽教材 875件（前年度 899件）

映像教材 2,293件（前年度 3,953件）

＜館外貸出＞ 【再掲】図書・CD貸出数68,325点（前年度 73,906点）

イ 視聴覚センター管理運営業務

札幌市からの委託により、視聴覚教育の推進と市民団体や学校などへの学習支援を行うことを目的に、視聴覚センターの管理運営を行った。

(a) 視聴覚教育教材の貸出し

市内の学校、町内会やサークルなどに対して16ミリフィルム・ビデオ・D

VD教材の貸出しを行った。

また、貸出しと並行して、自主制作教材はデジタルアーカイブ化して、視聴覚センターのホームページから自由に閲覧・利用できるようにしている。

【実績】教材貸出数 819本（前年度 1,233本）

機材貸出数 117台（前年度 151台）

デジタルアーカイブアクセス数90,764件（前年度 94,781件）

(b) 学習教材の制作

学校教育関係者と連携協力し、学習指導要領に沿い、地域に密着した内容の教材を制作した。

【実績】3本（前年度 3本）

(c) 視聴覚操作技術等講習会

① ビデオ制作ワークショップ

自主制作教材の制作技術の向上を図るため、教職員を対象に夏休み・冬休み期間中にワークショップを実施した。

【実績】4回28名（前年度 4回27名）

② 中学校校内放送コンテスト

札幌市中学校放送教育研究会との共催で、中学校放送局員が制作した番組とアナウンスのコンテストを開催した。

【実績】7/14(月)参加校8校29名（前年度 11校40名）

③ 中学校校内放送技術講習会

札幌市中学校放送教育研究会と共催で、中学校放送局員の技術向上を図るための講習会を実施した。

【実績】2回9校23名（前年度 2回16校55名）

## II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

### 4 科学及び科学技術普及振興事業

#### (1) 科学に関する教室・講座

##### ア 科学教室

##### (a) 日曜実験室

小中学生を対象に、身近な題材や現象を取入れた実験教室を日曜・祝日に実施した。

【実績】64回795名（前年度 65回795名）

4月～6月「のぞいてみよう！植物の世界」20回 231名

7月～10月「これであなたも化学者に！？～酸、アルカリについて調べてみよう」23回 367名

11月～2月「バチッ！？ビリッ！？電気ってなああに??」21回 197名

##### (b) サイエンジャー科学教室

近年の利用者層を鑑み、夏休みの講座の対象学年を低学年まで広げたところ、多くの集客を得られた。また、12月22日の親子を対象とした教室では、未就学児の感性と創造力を養い、科学に親しみを持ってもらう機会を提供した。

【実績】15回340名（前年度 19回362名）

	日程	タイトル	連携先・講師	回数	受講者
1	6/15(土)	AM/FMラジオをつくろう！	日本無線株式会社北海道支社	1	15組 30名
2	6/29(土)	メカトロ教室「走れ！ロボットカー」	一般社団法人日本機械学会	1	24名
3	7/29(月)	KidsVentureIchigoJam プログラミング教室	KidsVenture	1	18名
4	8/3(土)、 8/6(火)	サイエンスラボ 顕微鏡で大研究		1	6名
5 ～ 8	8/8(木)、 8/9(金)	へんしん！色がいろいろカワリンジャー	北海道小学校理科研究会	4	112名
9	9/7(土)	ROBOLAB プログラミング教室	日本IBM(株)	1	33名
10	9/28(土)	自分の手で、携帯電話を分解しよう	KDDI株式会社	1	6組 12名
11	11/2(土)	ヒグマの科学	CISE ネットワーク	1	12名
12	12/7(土)	雪の結晶をつくろう		1	16名

13	12/22(日)	親子でつくろう のぼれ！サンタさん		1	60名
14	1/14(火)	サイエンスラボ パスタで橋づくりにチャレンジ		1	5名
15	2/1(土)	恐竜の科学	CISE ネットワーク	1	12名
計				15	340名

(c) 科学館の工作室

工作を通して科学原理の理解を深める機会を提供するため、主に小中学生を対象に、工作教室を実施した。

① 日曜・祝日

【実績】126回938名（前年度 162回1,579名）

「とびだすさくらの木」、「ねずみとねこのダンス」他

② GW特別工作（新規）

【実績】9日間27回172組344名

4/28(日)～5/6(月・祝)「くるくるゆうえんち」

③ アイデアをかたちにする工作会

【実績】2月の日曜・祝日 12回32組64名（前年度 10回67組134名）

④ 夏休み工作会

【実績】12日間48回936名

（前年度 12日間48回980名）

7/27(土)～29(月)、8/3(土)～8/5(月)、

8/10(土)～8/12(月・祝)、8/14(水)～8/16(金)

「ジオラマペンスタンド」、「ホーホーふくろう」

⑤ 冬休み工作会

【実績】8日間32回451名（前年度 8日32回464名）

1/5(日)～1/8(水)、1/11(土)～1/14(火)

「はやぶさ2の宇宙旅行」、「ねずみとねこのダンス」

(d) 大人のための天文教室

星空を楽しむ基礎知識や星座早見盤の使い方を学ぶ「やさしく学ぶ星空教室」や「はじめての天体写真講座」を実施した。応募者多数で抽選になり、市民の関心の高さが伺えるものとなった。

【実績】3回83名（前年度 4回106名）

「やさしく学ぶ星空教室」31名

「はじめての天体写真講座」15名

「詳しく学ぶ天文講座」37名

(e) 親子天文教室



夏休みは望遠鏡の工作を通して、望遠鏡の仕組みや天文についての基礎知識を伝えることができた。冬休みは自分の誕生月に見られる星空のプラネタリウムの工作と講義をセットで行うことで、天文に関する興味関心を高めることが出来た。

【実績】夏休み3回 49組118名（前年度 3回48組129名）

冬休み3回 57組130名（前年度 3回46組128名）

(f) 宇宙セミナー

北海道情報大学と共催し、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の現役職員を招いて「はやぶさ2」をテーマに最新の情報を交えた講演会を実施した。

【実績】2回193名（前年度 1回147名）

7/27(土)「宇宙開発最前線」1回79名

講師：広瀬史子氏（宇宙航空研究開発機構 主任開発研究員）

1/25(土)「金星探査機「あかつき」の旅」1回114名

講師：中村正人氏（宇宙航空研究開発機構 教授）

(g) 先端科学技術講座

最先端の科学技術への興味・関心を高めるため、常設展示では補えない最新の科学研究について紹介する講演会を実施した。

【実績】2回261名（前年度 2回220名）

7/30(火) 山崎直子宇宙飛行士特別講演会

「宇宙に“住む”を考える」177名

1/7(火)「すばる一般講演会 ハワイからみる宇宙

～すばる望遠鏡のすごさに迫る」84名

講師：宮崎聡氏（国立天文台先端技術センター教授）

(h) 大学生による科学教室

大学生が講師を務める小学生対象の科学教室を開催した。

【実績】2回41名（前年度 2回39名）

2/15(土)「大学生が教えるロボット相撲講座」

（北海道科学大学 ロボットダイナミクス研究室）29名

2/22(土)「さぐってみよう 夕焼け色のひみつ」

（公立千歳科学技術大学 理工工房）12名

イ 出前イベント

(a) 移動天文台

学校や町内会、青少年育成委員会などからの要請により、移動天文車と職員及び天文指導員を派遣し、望遠鏡を用いた天体観望や星空解説を行う観望

会を実施した。

**【実績】 申込数47件**

天体観望19件、屋内実施21件、中止7件

(前年度 申し込み46件 天体観望27件、屋内実施7件、中止12件)

**(b) 移動プラネタリウム**

移動プラネタリウムを小・中学校でのアウトリーチ活動に活用した。地理的・時間的に来館が困難な小・中学校へ出向き、移動式のプラネタリウムを利用した学習投影を行った。

**【実績】 小学校 10校 投影回数18回 464名**

**中学校 5校 投影回数25回 778名**

(前年度 幼稚園5園、小学校9校、中学校5校 46回1,427名)

**ウ その他科学普及に関する事業**

**(a) 科学クラブ運営**

リピーターの拡大を図るため、小中学生を対象に会員を募り実験教室などを行った。また、会員向けのメールマガジンの発行や各種イベントへの参加回数に応じ特典を付与し、所定のポイント取得者限定の特典イベントを実施した。

**【実績】 会員74名 (新規37名、更新37名)**

(前年度 会員74名 (新規42名、更新32名))

5/11(土) 入会式 52名

6/8(土) 宇宙探査最前線 50名

7/20(土) 夏の特別展バックヤードツアー 50名

8/31(土) 水族館でアンモナイトを知ろう! 49名

10/26(土) ビルの化石見学ツアー 34名

11/30(土) アクアビーズで見える空気をつくろう! 48名

12/21(土) 冬の特別展バックヤードツアー 35名

1/25(土) ペーパーグライダーをとばそう! 45名

1/26(日) ポイントシール 20枚目特典プラネタリウム裏側体験 4名

**(b) 職場体験などの受入れ**

児童・生徒の総合的な学習や学生の自主研修などへの支援として、実習生を受け入れ指導した。

**【実績】 5校 19名 (前年度 5校 18名)**

**(c) 実験実習セット貸出し及び制作**

学校での効果的な授業作りに役立つ実験・実習セットを貸出すとともに、

観察資料用の微生物を提供した。

【実績】貸出し31団体101セット（前年度 貸出し25団体79セット）

(d) 教員研修

小学校新任教員が専門的な力量を高め、幅広い知見を得られるように科学への心構えから始め、物理・化学・生物・地学の基本的な実験実習を行った。

【実績】8回157名（前年度 9回195名）

6/13(木) 当別・新篠津教育研究協議会 1名

7/31(水)～8/2(金) 令和元年度札幌市初任段階における研修

「1年次研修」(初任者研修)「選択研修」小学校理科実験基礎 78名

8/8(木) 小学校における「天文」に関する観察の指導と工夫 6名

1/7(火)～1/8(水)・1/10(金) 令和元年度札幌市初任段階における

研修「1年次研修」(初任者研修)「選択研修」

小学校理科実験基礎 72名

(e) 博物館実習等の受入れ

大学からの依頼により、学芸員の資格取得のための博物館実習生を受入れ、指導した。

【実績】7/19(金) 博物館実習の見学実習 29名（北海道大学）

（前年度 31名）

9/3(火)～9/15(日) 博物館実習生の受入れ 3校3名

（前年度 4校4名）

エ 共催事業・協力事業

(a) 宇宙の日 作文・絵画コンテスト

「宇宙の日（9月12日）」を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品の募集を行った。

【実績】作文5名 絵画29名（前年度 作文3名 絵画59名）

(b) 札幌市創意工夫作品展

小中学生が自由研究などで作った作品展示の会場提供を行った。

【実績】展示79点（前年度 展示90点）

(c) 夏休み天体観望会（共催：(公財)さっぽろ青少年女性活動協会）

光害の影響を受けない定山溪自然の村で、ペルセウス座流星群が多く流れる時期に天体観望を実施した。

【実績】8/13(火)85名（前年度 128名）

(d) さっぽろ星まつり

市民の天文への興味・関心を高めるために、サッポロさとらんどを会場に天体観望会や星に関するゲームを行った。

【実績】8/31(土)～9/1(日)7,000名(昨年度 2日間3,700名)

(e) 他団体との連携による科学教室等

企業や研究団体と連携し、通常では実施が困難な専門的な内容の科学教室の実施や館内事業の充実を図った。また、他施設で当館のPRなどを行った。

【実績】24回53,121名(前年度 22回28,058名)

	日程	名称	形態・連携先	参加者数	備考
1	4/20(土)～5/12(日)、7/20(土)～8/25(日)	かるちやる net スタンプラリー	かるちやる net	5,152名	
2	6/22(土)	厚別区誕生 30 周年記念事業「新さっぽろ音楽の日」	厚別区	—	ふれあい広場あつべつ他
3	7/13(土)～8/18(日)	ホリデー・テーリング2019	一般財団法人札幌市交通事業振興公社	3,922名	
4	7/14(土)、15(日)	夏の特別展時における厚別図書館所蔵書籍の配架	厚別図書館	—	
5	7/20(土)～8/18(日)	厚別区誕生 30 周年記念事業「怪盗Aからの挑戦状～厚別区謎解きクイズラリー」	厚別区		
6	8/2(金)～8/4(日)、8/17(土)、8/18(日)	キッズドリームフェス	(株)北海道日本ハムファイターズ	1,411名	札幌ドーム
7	8/7(水)	親子工場見学会	一般社団法人セメント協会	18組 36名	室蘭セメント工場
8	8/31(土)～9/1(日)、9/6(金)～9/23(月・祝)	写真展「9.6の夜空」	写真展「9.6の夜空」実行委員会	22,670名	サッポロさとらんど・青少年科学館
9	9/21(土)～22(日)	札幌市創意くふう作品展	札幌市創意くふう作品展実行委員会ほか	1,700名	
10	9/28(土)	青少年のための科学の祭典 in 北海道 2019	科学の祭典 in 北海道実行委員会	576名	札幌商工会議所
11	10/5(土)	ジオ・フェスティバル in Sapporo 2019	同実行委員会	1,374名	

12	10/13(日)、 14(月・祝)	サイエン Z00 動物園科学 の日	札幌市円山動物園	420名	札幌市円 山動物園
13	10/20(日)	サイエンス厚別	厚別区 PTA 連合会	1,812 名	
14	11/3(日)	科学大実験	北海道科学大学	190名	
15	11/9(土)、 24(日)	ふしぎ★おどろき！サイエ ンスキッズ	札幌市子ども育成 連合会	107名	計4回実 施
16	11/9(土)、 11/10(日)	ミュージアムキッズ！全国 フェア in AWAJI 2019	こどもひかりプロ ジェクト	6,061 名	国立淡路 青少年講 習の家
17	11/16(土)、 17(日)	第5回マイコンレーサー北 海道大会	北海道ロボット教 育推進会	12名	
18	11/24(日)	発見・体験・文化の秋 ～遊ぼう！学ぼう！あつべ つ・えべつ～	かるちやる net	921名	
19	11/30(土)、 12/1(日)	北海道科学技術作品展	北海道発明工夫教 育連盟ほか	1,496 名	
20	12/18(水)～ 21(火)	冬の特別展時における厚別 図書館所蔵書籍の配架	厚別図書館	—	
21	1/4(土)、 5(日)	施設紹介パネル展	かるちやる net	—	
22	1/9(木)、 10(金)	第7回 CISE サイエンス・ フェスティバル	CISE ネットワーク	1,692 名	札幌駅前 地下広場
23	1/25(土)、 26(日)	新さっぽろ冬まつり	同実行委員会	260名 (※科学館 会場のみ)	
24	2/11(火)～ 24(月・祝)	メディアアーツ都市札幌× 厚別区 30周年連携企画 「厚別区誕生 30周年記念 あつべつフォト&スタンプ ラリー」	札幌市観光文化局	2,616 名	
計				53,121 名	

## (2) ボランティアなどの育成・活用事業

### ア 天文ボランティア養成講座

天文指導に興味・関心を持つ学生や一般市民を対象に、天体観望の初歩的な手法や星空案内方法などを取り上げ、身近な人への天文普及を行える程度の能力を身につける機会を提供した。

【実績】1回(全6日/回)19名(前年度 1回(全6日/回)21名)

## イ 天文指導員の養成

継続登録者に加え、天文ボランティア養成講座の修了者から希望者を募り、定期研修や天文事業への参加機会を提供して天文普及の一翼を担う人材を養成した。

【実績】登録者数40名（新規5名、継続35名）（前年度 39名）

## ウ 展示ボランティア等の養成

昨年度に引き続き、当館元職員（教員OB）の協力を得て試行的に導入した。ゴールデンウィークと夏の特別展期間に3階展示室内において10分程度で参加できる簡単な実験を行った。今後、本格的な導入に向けた課題の洗い出しや活動のあり方を検討していく。

また、工作会においても当館元職員（教員OB）の協力を得て試行的に導入し、工作会の指導補助や題材制作を行った。

【実績】登録者数2名（前年度 3名）

## (3) 科学に関する情報の収集・提供

### ア 科学資料の収集

#### (a) 科学技術に関する資料の収集

展示物の解説や更新・改良の基礎資料として、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。職員の参考資料にするとともに、科学系雑誌などは、学習コーナーにて閲覧できるようにした。また、厚別図書館と連携し、学習コーナーを充実させた。

#### (b) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、職員が自ら撮影した、天体写真などの資料を1階エントランスにて掲示した。なお、撮影した天体写真はインターネットを通じて公開した。

【実績】4月 おとめ座M87銀河、5月 札幌ドームと春の星、スターリンク衛星、7月 ラベンダーと星空、10月 馬頭星雲、12月 部分日食、3月 惑星の接近、昼間の金星、アトラス彗星 など

### イ 科学情報の提供・学習支援

#### (a) 「星空散歩」の発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを隔月で発行し、市内公共施設などで配布した。

【実績】6回発行（4月、6月、8月、10月、12月、2月）計43,000部発行

(前年度 6回44,500部)

(b) 天文相談コーナーの運営

ゴールデンウィーク及び冬の特別展期間中、天体望遠鏡などを用いた実演で来館者へ向けた天文普及活動を実施した。

【実績】16日間 1,671名 (前年度 7日間447名)

(c) ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページに科学トピックスや学習支援のためのワークシートなどを掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行った。

【実績】ホームページアクセス数 346,124件 (前年度 332,911件)

## 5 青少年科学館等管理運営事業

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(a) 常設展示

見て、触れて、考えるをテーマに、天文・地球科学、北方圏、電気、力学などの各コーナーの展示物をより楽しく理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらった。

「科学館を楽しむ方法講座」

成人を対象に、展示物の学びのポイントや仕組み、活用方法を学ぶ講座を実施した。

【実績】7/6(土)、12/15(日) 2回13名 (前年度 2回20名)

(b) 展示実演等

① サイエンスショー

来館者とのコミュニケーションを図りながら科学への興味・関心を深めてもらえるよう、不思議な現象の紹介や楽しい実験などの実演ショーを行った。

【実績】649回18,458名 (前年度 737回20,031名)

4月「おと おっと おととと！ 音の大実験」 59回1,612名

5～8月「まわる まわる 目がまわる ～回転が引き起こす不思議な世界～」 275回8,606名

9～12月「光と脳の不思議な関係」 210回5,460名

1月～2月「まわって おちて とびだして」105回2,780名

② ロボットショー

サッカーロボットの実演を行い、ロボットとの対話やロボットの動きなどを楽しんでもらった。

【実績】2回/日

③ テレビスタジオ

クロマキーなどテレビ番組で使われている特殊効果を紹介するとともに実際に撮影体験してもらう参加型の実演を行った。

【実績】3回/日

④ 低温展示室公開

札幌市の真冬と同じ気温である-10℃の部屋にて、南極の氷や流氷などの展示を行った。また、新たに南極と北極の氷床コア（アイスコア）を国立極地研究所から借用し、展示した。

【実績】3回/日

⑤ ちょびっとサイエンス

展示室の入口で、簡単な科学体験や実演を行った（毎月第2、第4土曜日に実施）。

【実績】36回1,764名（前年度 58回4,568名）

(c) 実験・実習への協力

市内の小学校を対象に、「サイエンスホール」で、4年生向けに「空気」に関する実験を行った。

また、札幌市教育委員会が実施する科学館の機能を活用し、理科授業の支援を図る「理科授業プログラム」を受け入れた。さらに、中学校の環境学習を受入れた。

【実績】

幼児のための学習サイエンスショー 5園4回119名（前年度 9園3回306名）

学習サイエンスショー 26校26回1,773名（前年度 37校43回3,240名）

理科授業プログラム 5校470名（小学校4校311名、中学校1校159名）

（前年度 6校624名（小学校4校314名、中学校2校310名））

環境学習プログラム 中学校1校53名（前年度 1校57名）

イ 特別展等

(a) 特別展

夏休みや冬休みなどの期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示中心の特別展を開催した。実施にあたっては関係各機関や団体などとの連携はもとより館内の既存事業とも連動し体系的に展開した。

夏休み期間は「家」をテーマに、家の中に隠れた様々な科学や科学技術について、展示を通して体験しながら学んでもらった。



冬休み期間は「ハワイ」を切り口に、南国の雰囲気味わいながら火山や天文などの地球科学をテーマに体験を通して学べる内容とした。

【実績】7/26(金)～8/18(日)「体験！発見！お家を科学する」

24日間36,107名（前年度 30日間45,998名）

1/5(日)～1/19(日)「地球のフシギを体感！Hawai’i展」

15日間17,099名（前年度 16日間12,981名）

#### (b) 環境科学展

市内等の企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などについて、体験等を交えながら子どもたちにもわかりやすく紹介するイベントを開催した。

【実績】10/26(土)、10/27(日)2日間1,948名（前年度 2日間2,165名）

#### (c) 中高生によるサイエンス広場

子どもたちが多様な科学実験を体験できるよう、中学校や高等学校の科学部を主体とした団体の科学体験ブースを多数展開したイベントを開催した。

【実績】11/23(土) 5校34名（前年度 5校59名）

#### (d) 巡回展

##### ① 星座展～ギリシャ神話からキトラ古墳まで～

春休み期間中に全国科学館連携協議会で制作した展示物を借用・展示し、来館者の科学に対する興味・関心を喚起した。

【実績】3/23(土)～4/7(日) 17,596名

##### ② ゴールデンウィークスペシャルイベント「はやぶさ2特集」

ゴールデンウィーク期間に、全国科学館連携協議会から借用した展示を中心に、パネル展やスタンプラリー、プラネタリウムテーマ解説など、全館を挙げて小惑星探査機はやぶさ2のプロジェクトを紹介した。

【実績】4/27(土)～5/6(月・祝) 21,359名

##### ③ 国際周期表年2019特別展

メンデレーエフの周期律発見から150年を記念し日本化学会が企画・制作した元素や周期表の重要性を伝える全国巡回展「国際周期表年2019特別展」を開催した。

【実績】8/21(水)～9/1(日) 9,871名

## (2) 天文関連事業

### ア プラネタリウム投影・解説

#### (a) 一般投影

職員が、各回の観望者の年齢層にあわせて内容や話し方を工夫した生解説

を行うなど、観望者にわかりやすく星座や天文知識を紹介した。

【実績】1,233回 79,388名（前年度 1,365回 88,872名）

(b) 学習投影

小中学校を対象に、理科授業の一環として、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。

【実績】260校 136回 18,860名（前年度 230校 174回 18,145名）

(c) オート番組制作

一般投影時に用いるプラネタリウムオート番組（ドーム全体に投影されるアニメーション動画）を制作・購入した。

【実績】オリジナルオート番組「もりのやきゅうちーむ ふぁいたーず ほしのせかいへ」制作：令和元年7月から上映

「Wayfinders」購入：令和2年1月上映

「HAYABUSA2～REBORN」購入：令和2年4月～令和3年3月まで上映

イ プラネタリウム特別投影

(a) 特別投影

小惑星へのタッチダウンが話題となった「はやぶさ2」を取り上げた専門性の高い投影や、親子向けに謎解きプラネ、外部団体と連携したコンサート等を実施し好評を得た。

【実績】10回 1,707名（前年度 8回 1,287名）

6/22(土) 「はやぶさ2 挑戦への旅」 169名

8/3(土)～8/4(日)「親子でチャレンジ！謎解きプラネ」 361名

10/19(土)～10/20(日)「VR ドームムービーセレクション&プラネタリウムライブ」 281名

12/20(金)～12/22(日)「中垣哲也オーロラ投影&トークショー」 538名

2/8(土)～2/9(日)「SNOW MIKU ナイトプラネタリウム～Twinkle Stars Harmony♪～」 358名

(b) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な人も理解できるよう、字幕付きのプラネタリウムを行った。

【実績】11/1(金)～11/2(土) 2回 106名（前年度 4回 166名）

(c) 震災特別番組「星よりも、遠くへ」の上映（新規）

北海道胆振東部地震から約1年経過した時期に、仙台市天文台制作の同番組を上映した。

【実績】3回 9/6日(金)～9/8日(日) 142名

## ウ 天体観望事業

### (a) 天体観望会

#### 科学館観望会

夜間特別投影の上映に合わせて、科学館正面玄関前にて天体望遠鏡を用いた観望会を行った。

【実績】実施2回(8/3(土)~8/4(日))430名 (前年度 3回530名)

### (b) 札幌市天文台公開

中島公園内にある札幌市天文台を公開し観望会を実施した。

【実績】590回18,542名 (前年度 505回18,511名)

### (c) 昼間の星を見よう！

毎週土曜日に科学館の屋上に設置してある天文台を公開し、金星等を観望した。なお、曇天・雨天時は、望遠鏡操作体験を実施した。

【実績】実施41回586名 (前年度 49回710名)

### (d) プラネタリウム祭り

プラネタリウム内での絵本の読み聞かせや、北海道日本ハムファイターズの職員をゲストに迎えた投影、謎解きプラネなど科学以外のジャンルと組合せた新たな切り口の企画を実施した。また、今年が月着陸50周年になることから、月をテーマにした回も設定した。

【実績】12/7(土)、12/8(日)、12/14(土)、12/15(日)4日間 2,833名  
(前年度 4日間2,679名)

## (3) その他施設運営

### ア 「科学館ニュース」の発行

イベント情報などを盛り込んだ「科学館ニュース」を毎月発行し、市内の幼稚園、小中学校に配布した。また、区役所や区民センターなどのコミュニティ施設や図書館などの社会教育施設に配布し、市民への情報発信に努めた。

【実績】12回56,500部 (前年度 12回80,000部)

## イ 利用者などの声を生かす取組み

### (a) 利用者アンケートの実施

開館中に来館者に対してアンケート調査を実施した。

【実績】2回358名 (前年度 2回367名)

8/14(水)~8/16(金) 129名

1/5(日)~1/10(金) 229名

(b) 科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者、地域有識者などからなる協議会を開催した。協議会では、特に事業の広報や地域連携について意見をいただいた。

【実績】2回開催 6/5(水)、11/8(金) (前年度 3回)

(c) 小学校・中学校連絡会の開催

学校教員との情報交換を密に行い、教育現場の状況把握に努めた。

(d) 開館記念感謝デー（スペシャルサイエンスデー）の開催

SDGs をコンセプトとした、私たちの暮らしと科学や科学技術の関わりについて考えるイベントとして開催。今年度は南極観測隊でフィールドアシスタントとして活躍した阿部幹雄氏を招いた講演会を開催した。南極での地学調査の話の他、フリーズドライ食品の開発の話など最新の科学技術の紹介を行った。阿部氏が開発したフリーズドライ食品は、山崎直子名誉館長の宇宙滞在時に利用されるなど JAXA の宇宙食にも使われており、講演会をきっかけに売店商品としても販売を開始した。また、地球科学を体験的に学ぶジオフェスティバル、元素周期律の発見から 150 周年に合わせて数字の代わりに元素記号で行うビンゴ大会など館全体を使ったイベントを開催した。

【実績】10/5(土) 1,361名 (前年度 1回 1,010名)

(e) 展示室年間パスポートの販売

有料利用者の利便性向上等のため、1年間展示室を何度でも利用できる年間パスポートを販売した。

【実績】896枚 (前年度 1,139枚)

(f) 「高校生の日」の開催

中高生が主体となるイベント等の開催日に合わせて、高校生の展示室観覧料を免除とした。若い世代がより気軽に科学に親しみ、興味を持つきっかけづくりとした。

【実績】2回 37名 (前年度 3回 101名)

10/5(土) 16名 (ジオフェスティバル・開館記念感謝デー (スペシャルサイエンスデー))

11/23(土) 21名 (中高生によるサイエンス広場)

## **収 1 物品販売等事業**

---

(定款第 4 条第 1 項第 6 号に掲げる事業)

### **(1) 売店の運営**

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした売店事業を行った。

### **(2) 自動販売機の設置・販売**

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行った。

### **(3) 飲食店の運営**

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、「Chie Terrace (ちえテラス)」における飲食店運営をタリーズコーヒージャパン(株)に委託し、来館者への飲食等提供事業を行った。

## **他 1 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業**

---

(定款第 4 条第 1 項第 5・6 号に掲げる事業)

### **(1) 施設の貸与**

企業などの利用を含む公益目的以外の目的に対し、ちえりあホール及び各種研修室を貸与した。

### **(2) 駐車場管理業務**

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、利用者への便益提供を目的とした駐車場の管理運営を行った。

### **(3) 施設管理受託業務**

札幌市から受託した、札幌市生涯学習総合センター内の札幌市教育センター、宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢などの警備、清掃業務を行った。

## 令和元年度 管理運営施設利用状況

## ● 札幌市青少年科学館観覧者数

		令和元年度			前年度 (平成30年度)
		個人	団体	合計(人)	
展示室	大人	67,169	13,267	80,436	92,593
	小人	78,747	37,101	115,848	131,137
小計		145,916	50,368	196,284	223,730
プラネタリウム	大人	38,144	4,906	43,050	46,933
	小人	31,954	23,183	55,137	60,084
小計		70,098	28,089	98,187	107,017
合計		216,014	78,457	294,471	330,747
1日あたりの観覧者数 (人)		1,048			1,177

## ● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況

項目		令和元年度	前年度対比	平成30年度
貸室(25室)	利用率 (%)	79.8%	97.7%	81.7%
	利用人数 (人)	498,631	98.7%	505,405
1日あたりの利用者数 (人)		1,437	98.7%	1,456

## ● メディアプラザ利用状況

項目	令和元年度	前年度対比	平成30年度
メディアプラザ利用人数 (人)	178,135	89.0%	200,239
一日あたりの利用者数 (人)	513	88.9%	577

## ● 視聴覚センター教材貸し出し状況(16ミリ・ビデオ教材・機材)

項目	令和元年度	前年度対比	平成30年度
貸出本数	819	66.4%	1,233
デジタルアーカイブス アクセス数	90,764	95.8%	94,781

## ● 令和元年度 管理運営施設利用状況

項目		令和元年度	前年度対比	前年度 (平成30年度)
ホール	利用率	72.7%	99.7%	72.9%
	利用人数	137,830	95.9%	143,666
講堂	利用率	68.4%	98.1%	69.7%
	利用人数	69,900	108.0%	64,738
大研修室	利用率	75.3%	96.8%	77.8%
	利用人数	42,080	101.6%	41,407
中研修室 1	利用率	78.7%	100.8%	78.1%
	利用人数	25,329	101.5%	24,966
中研修室 2	利用率	83.0%	92.9%	89.3%
	利用人数	25,741	97.1%	26,515
演劇スタジオ 1	利用率	95.4%	97.0%	98.3%
	利用人数	18,878	91.3%	20,682
演劇スタジオ 2	利用率	96.0%	97.2%	98.8%
	利用人数	10,688	97.0%	11,021
音楽スタジオ 1	利用率	88.5%	93.4%	94.8%
	利用人数	7,383	89.8%	8,223
音楽スタジオ 2	利用率	92.8%	96.7%	96.0%
	利用人数	8,114	84.3%	9,622
映像スタジオ	利用率	79.9%	98.3%	81.3%
	利用人数	14,948	92.9%	16,088

## ● メディアプラザ音楽・映像教材保有数

	CD	LP	SP	LD	VHS	DVD	合計
保有数	12,573	8,763	1,946	1,884	192	1,233	26,591
うち新着数	42	0	0	0	0	12	54

## 令和元年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための事業対応等

### [生涯学習センター]

休館期間：令和元年度 なし（メディアプラザおよび視聴覚センターのみ 3/1～3/19 休業）  
 （令和2年度 4/14～5/31）

### さっぽろ市民カレッジ 中止講座数 内訳

	センター 企画講座	学社融合 講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	講座数計	受講予定者数計
市民活動系	2	0	0	0	2	42
産業・ ビジネス系	5	0	0	0	5	67
文化・ 教養系	7	0	3	33	43	701
合計	14	0	3	33	50	810

### キャンセルに伴う施設利用料返金件数（令和2年 5/31 現在）

	2月	3月
ちえりあホール	6件	33件
研修室等	75件	652件

### 中止主催事業

事業名・イベント名	事業報告書 該当ページ	回数	日程	備考
ちえりあ映画会	4P 1-(3)-イ	2回	2/27、3/27	
CDコンサート	5P 1-(3)-オ	1回	3/17	
ちえテラス運営 「カレッジサロン」	6p	1回	2/29	
ちえテラス運営 「おはなし会」	1-(3)-ク	2回	2/26、3/26	
ロビーコンサート	6p 1-(4)-イ	1回	3/14	
「ちえりあ学習ボランティア」 活動パネル展	7p 2-(1)-イ-(a)		2/27～2/29	チカホ開催
			3/5～3/8	ちえりあ ロビー開催



「ちえりあビデオクルー」 研修会	8p 2-(2)-ア-(a)	/	3/20	ちえりあ ホール開催
---------------------	-------------------	---	------	---------------

### [青少年科学館]

休館期間：令和元年度 2/28～3/31（札幌市天文台のみ 3/5～3/31 休台）

（令和2年度 4/1～4/6、4/14～6/1）

### 中止事業

事業名・イベント名	事業報告書 該当ページ	回数	日程	備考
日曜実験室	13p 4-(1)-ア-(a)	6回	3/1、3/8、3/15、 3/20、3/22、3/29	日曜・祝日
サイエンジャー科学教室 「トライサイエンス」	13p 4-(1)-ア-(b)	1回	3/1	連携先： IBM 株式会社
科学館の工作室	14p 4-(1)-ア-(c)	18回	3/1、3/8、3/15、 3/20、3/22、3/29	日曜・祝日 (3回/日)
大人のための天文教室 「詳しく学ぶ天文講座」	14p 4-(1)-ア-(d)	2回	2/28、3/13	全4回中2回中止 有料（半額返金）
科学クラブ運営 「サイキッズ友の会」閉講式	16p 4-(1)-ウ-(a)	1回	3/7	
他団体との連携による科学教室 「北海道インターナショナルサイ エンスフェア (HISF)」	18p 4-(1)-エ-(e)	1回	3/10	札幌啓成高校
常設展示・展示実演等	21p 5-(1)-ア-(a)(b)	/	2/28～3/31	
特別展 「春だ！わくわくサイエンス！」	22p 5-(1)-イ-(a)	/	3/26～3/31	
プラネタリウム一般投影	23p 5-(2)-ア-(a)	140回	2/28～3/31	5回×29日分
字幕付きプラネタリウム	24p 5-(2)-イ-(b)	2回	2/28～2/29	
キッズプラネタリウム	5-(2)-イ ※事業報告書記 載なし	6回	3/3～3/5、 3/10～3/12	
札幌市天文台公開・夜間公開	25p 5-(2)-ウ-(b)	/	3/5～3/31 夜間 3/6～3/8	

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 2 年 6 月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団